



テトラ オート パワーフィルター AX-60 Plus

取扱説明書 (保証書付)



淡水・海水両用
適合水槽60cm以下

- このたびは、テトラ オート パワーフィルターをお買い上げいただき、誠に有難うございます。
- 正しく安全にお使いいただくために、使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、十分に理解してからご使用ください。お読みになった後は、大切に保管していただき、必要な時お読みください。

安全にお使いいただくために

- 誤った使用方法、管理不十分等による事故、または魚・水草などの生体の病気、死亡、枯死等については、弊社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- なお本品は品質向上のため、予告なく仕様変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

警告

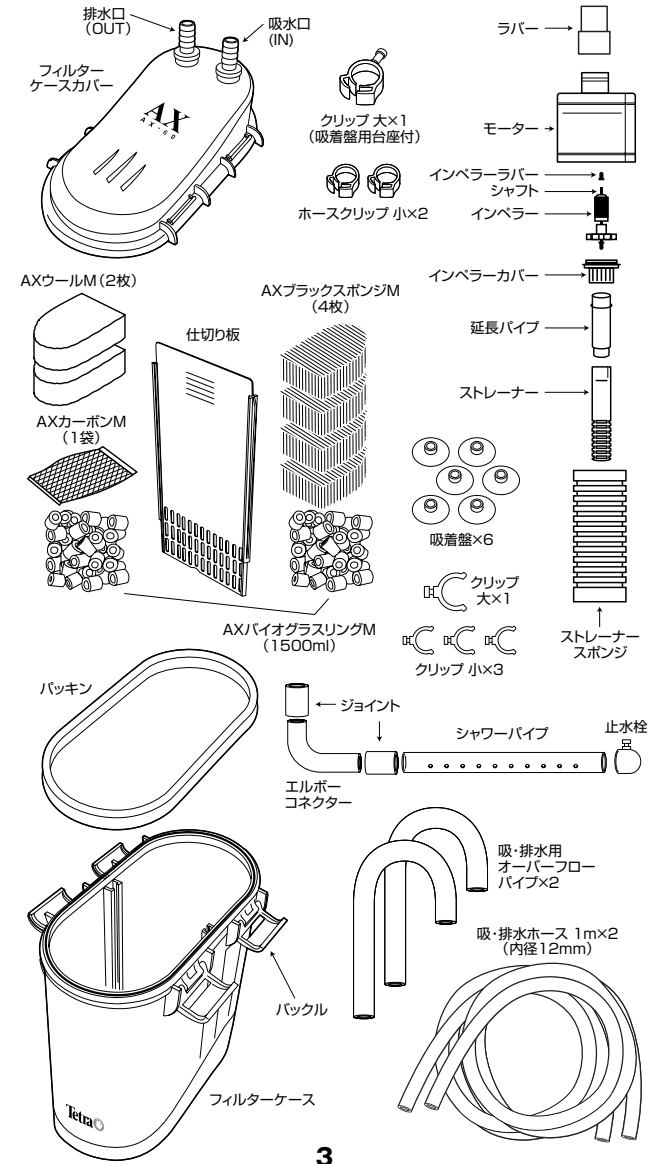
- 水中に手を入れる時には前もって電源を切ってください。また、濡れた手でプラグの抜き差しをしないでください。
- AC100V電源のみお使いください。また変圧器などをご使用しないでください。
- 異常が発生した場合はただちに電源を切ってください。また、メンテナンス、移動などの場合には前もって電源を切ってください。
- パソコンやテレビなどの家電製品の近くに水槽やフィルターなどを設置しないでください。
- プラグの埃や汚れを放置せず、コンセントから抜いて除去してください。安全のため定期的に除去することをおすすめします。
- コンセントからプラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。手でプラグを持ってコンセントから抜いてください。
- 電源コードは、挟んだり束ねたりしたまま使わないでください。また、スイッチの取り付けなどの改造をしないでください。
- プラグやコンセントに水がかからないように、プラグ近くのコード部に水切りのたわみをつけてください。
- 定格オーバーや水漏れ感電事故などを防ぐため、タコ足配線や延長コードのご使用は避けてください。
- 子供がいたすらなどをしないよう十分にご注意ください。
- 引火性のもの(ガソリン、シンナーなど)の近くで使わないでください。

注意

- 梱包などについては万全を期しておりますが、購入後は早急に破損や部品不足などがないかご確認願います。
- 運転前に接続が正しいかどうか再確認し、運転後は水漏れや運転異常がないかどうか少なくとも一時間は監視してください。
- 日本国限定、屋内仕様、観賞魚水槽専用ですので、それ以外に使用しないでください。
- 強度のしっかりした水平なところに設置してください。本体を横にしたり物を乗せたり被せたりしないでください。
- 電源コードやコイルは防水上、修理交換できない構造になっておりますので大切に取り扱いください。
- 本品には弊社純正部品をご使用ください。またろ材の詰めすぎは流量を低下させますのでご注意ください。
- 本体同士の連結や複数の水槽間での連結循環、断続運転やタイマー運転等はしないでください。
- 各部の定期清掃や、パッキンなどの消耗品を定期的に変更することによって、故障を減らしモーターの寿命を延ばすことができます。
- 万一の故障や事故に備え、エアポンプによる通気や補助フィルターの併用を行ってください。
- 稚魚・小魚や衰弱魚はストレーナーに吸引されることがありますので十分に注意してください。
- ストレーナーは必ずセットしてご利用ください。セットしないと使用すると異物吸引により停止、故障の原因となります。
- 本体を洗浄する時、せっけん、洗剤を使用しないで下さい。
- ストレーナーの網目より小さな魚や砂は、フィルターに吸い込まれることがありますのでご注意ください。
- 正しい電源電圧周波数で使用して下さい。
- 目づまりや汚れによる流量低下は故障の原因となりますので、ストレーナースポンジやストレーナー部、モーター部やインベラー部、吸排水パイプ部は状況を見ながら定期的に掃除して下さい。
- 水槽の水位に注意して下さい。モーターを空回転させず、故障の原因となります。
- 器具を本来の目的以外に使用しないで下さい。推奨されている製品もしくは当社製の付属品以外のものを接続すると、危険な状態になる場合があります。
- 温度0℃以下の条件にさらされる可能性のある場所に器具を設置したり、保管したりしないで下さい。
- 作動前に、水槽にセット器具がきちんと設置されているか、水漏れがないか確認して下さい。
- コードは、つまずいたり、引っ張られたりすることがないように取り付けセットに注意して下さい。
- 酸素消費量の多い飼育状況では、エアポンプの併用をおすすめします。
- 魚病薬等を使用する際は、AXカーボンを取り除いて下さい。AXカーボンが薬効成分を吸着してしまいます。
- ホースは必ず内径12mmのホースをご使用ください。

2

各部の名称



3

製品仕様

品名	テトラ オート パワーフィルター AX-60Plus
モーター流量 (50/60Hz)	約550/630 ℓ /時
適合水槽	60cm以下
ろ過槽容積	約3.3 ℓ
定格周波数 (Hz)	50/60Hz共通
定格消費電力 (50/60Hz)	9.9/10.2W
使用電源	AC100V

交換ろ材・パーツ・オプション

交換ろ材

AXカーボンM / AXウールM (カーボン1袋 / ウール2枚) 品番: 78226

AXウールM 細かな汚れを、目の細かい素材で物理的にろ過します。AXカーボンM にごり、黄ばみ、悪臭を吸着します。

AXブラックスポンジM (4枚) 品番: 78225

目の荒いスポンジ表面にろ過バクテリアを繁殖させ汚れを分解、ゴミなども物理的にろ過します。

バイオグラスリングM (1500ml) 品番: 78224

通気性多孔質のバイオグラスリングに繁殖したろ過バクテリアにより有害なアンモニア、亜硝酸を強力に分解して、安全な水になります。

P-I / P-II 替替スポンジ 品番: 77836

ストレーナー部に被せることにより、稚魚の吸い込みを防ぎます。異物の吸い込みによるモーターの停止を予防します。ろ過バクテリアを繁殖させる、過能力を高めます。

交換パーツ

品番	品名	内容物
78321	AX-60パッキン	パッキン
75767	インベラーAT-75/AX-60Plus用	インベラー、シャフト
75775	交換用モーターAT-75/AX-60Plus用	モーター
75769	ストレーナーセットAT-75/AX-60Plus	延長パイプ、ストレーナー
78452	AX-60Plusオーバーフローパイプセット	オーバーフローパイプ、クリップ(小)、吸着盤
78453	AX-60Plusシャワーパイプセット	シャワーパイプ、止水栓、エルボコネクター、ジョイント×2、クリップ(小)、吸着盤×2
78454	AX-60Plusラバー	ラバー、クリップ(大)、吸着盤
78424	AX/EX吸着盤	吸着盤×4

オプション

テトラ ダブルタップコネクター 品番: 78490

スライドリングでワンタッチ着脱

コック付で止水が簡単!!

テトラ EXパイプ / モータークリーナー 品番: 78413

モーター部、パイプ部の洗浄に。

テトラ EXホースクリーナー 品番: 78414

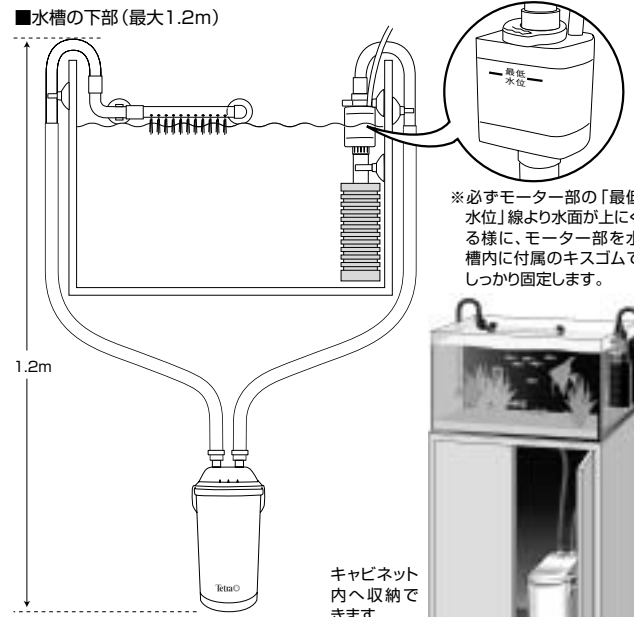
ホースの洗浄に。

※交換ろ材、オプションパーツのご購入は、本体ご購入販売店へお問い合わせください。

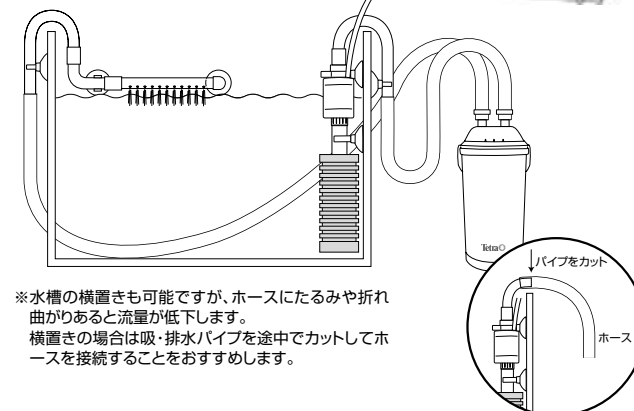
4

設置できる場所

下の図を参考に設置する場所を決めてください。



■水槽の横



5

保証書

※販売店様へのお願い：お手数ですが、販売時に店名・販売日の記入をお願いします。

製品名	テトラ オート パワーフィルター AX-60 Plus	
おとこ	〒	
おなまえ	様	
※お買い上げ日	保証期間	お買い上げより1年
※販売店	所在地	店名

- お買上後1年間の保証期間内に説明書によって正常にご使用いただいたにもかかわらず、万一故障した場合には無料で修理・調整をいたします。修理・調整は、お買上店もしくは、弊社インフォメーションセンターにご連絡ください。
- 販売店名、お買上げ日は販売店のレシートでも代用できます。(※)
- 次のような場合は、保証期間内でも適用外となります。
 - 1) 誤ったご使用や、不注意による故障または損傷 (機種不適合も含む)
 - 2) 不当な修理や改造による故障または損傷
 - 3) 火災・水害・雷・地震などの天変地異や、停電等による故障または損傷
 - 4) 飼育動物による故障または損傷
 - 5) 本保証書に販売店名およびお買上げ年月日の記載がない場合、あるいは字句を書き換えた場合
 - 6) 本保証書を紛失された場合
 - 7) 消耗品 (インベラー・ドライブマグネット、Oリング、吸排水ホース)、付属品、ろ材などの消耗による交換
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保存してください。
- 本書は日本国内のみ有効です。

保証期間以降及び保証適用範囲外での修理・調整は有料となります。その場合も本保証書を添えて、お買上げ店もしくは弊社インフォメーションセンターにご相談ください。

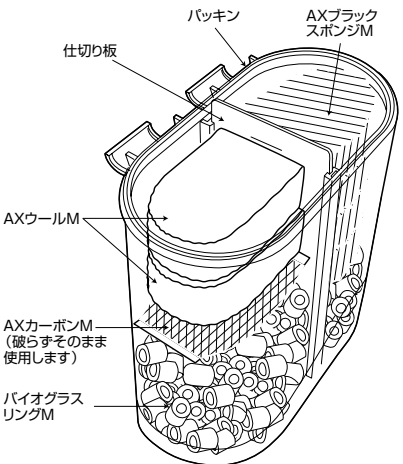
本品に万一が破損や部品不足などがありましたら、お早めに購入店が弊社までお知らせ下さい。本製品に関するご相談は、購入店もしくは弊社の下記窓口までお願い致します。なお、修理等による預かり期間中、代わりのフィルターのご提供は致しかねますので、あらかじめご了承ください。

(弊社相談窓口)
 テトラ インフォメーションセンター 電話 03 (3794) 9977
 (受付日時) 月～金曜日 (土・日・祭日は休業)、午前10～12時、午後2～5時
 ※テラ案内に従ってご操作願います。回線混雑時は恐れ入りますが、お掛け直しをお願いいたします。
 (手紙・修理申込品送付先)
 〒153-0062 東京都目黒区三田1-6-21 アルトイ藤ビル
 テトラ ジャパン (株) テトラ インフォメーションセンター行
 ※お問合せや修理お申込みの際は、機種名や購入店、水槽環境等についてお知らせください。
 テトラ ホームページアドレス www.tetra-jp.com

6

設置方法

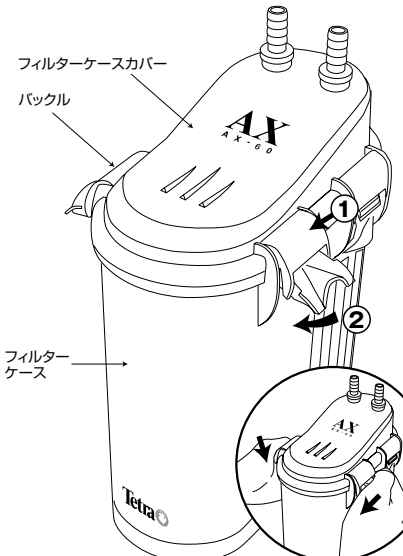
1. 3材の確認とセット



各種ろ材を取り出し、フィルターケース内部と各種ろ材、パッキンを軽く流水ですすいでから左図のようにセットしてください。
※バイオグラスリングMはビニール袋から取り出して流水ですすいでください。

△注意
付属の専用ろ材以外のろ材を使用しないでください。目詰まりや漏水、故障の原因となります。

2. フィルターケースにフィルターケースカバーを取り付ける



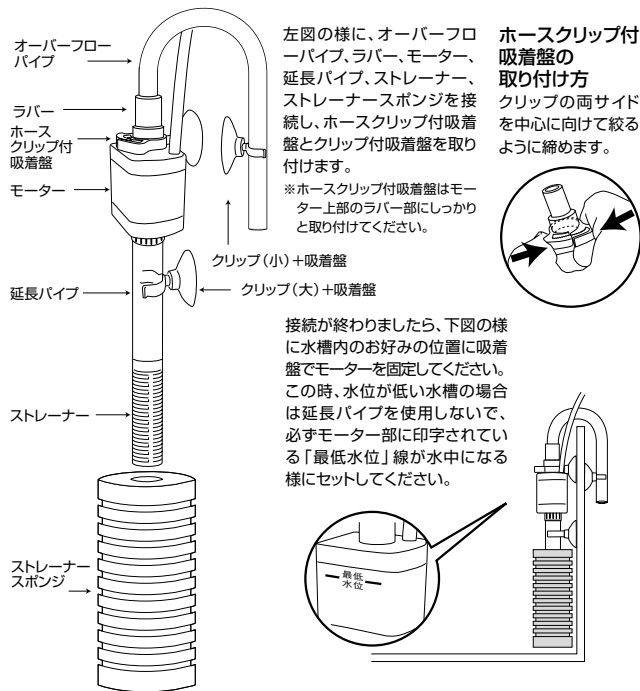
1. フィルターケースにパッキンが確実に装着されていることを確認してから、フィルターケースカバーをフィルターケースにしっかり押し込みます。

△注意
この時、パッキンの上のろ材の粉や異物がないか確認してください。パッキンとフィルターケースカバーの間に異物が挟まると水漏れの原因となります。

2. 次にフィルターケースに付属しているバックルをフィルターケースカバーの①の部分にしっかり装着してから②の部分のパチンと音がするまでフィルターケースの側面に向かって倒します。

7

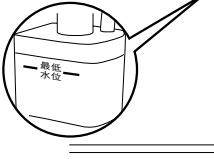
3. モーター部、吸水パイプの設置



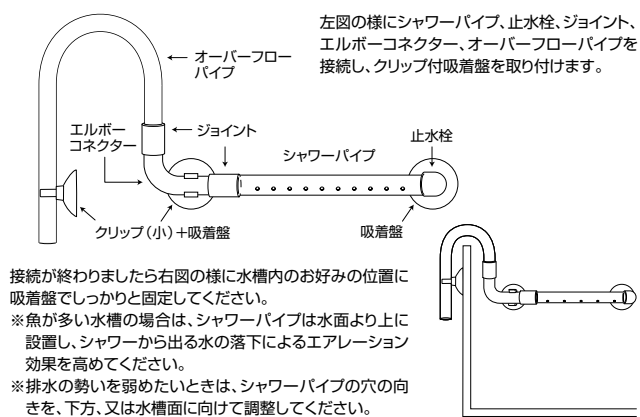
左図のように、オーバーフローパイプ、ラバー、モーター、延長パイプ、ストレーナー、ストレーナースポンジを接続し、ホースクリップ付吸着盤を取り付けます。
※ホースクリップ付吸着盤はモーター上部のラバー部にしっかりと取り付けてください。

ホースクリップ付吸着盤の取り付け方
クリップの高サイドを中心に向けて絞るように締めます。

接続が完了したら、下図のように水槽内のお好みの位置に吸着盤でモーターを固定してください。この時、水位が低い水槽の場合は延長パイプを使用しないで、必ずモーター部に印字されている「最低水位」線が水中になるようにセットしてください。



4. シャワーパイプ、排水パイプの設置

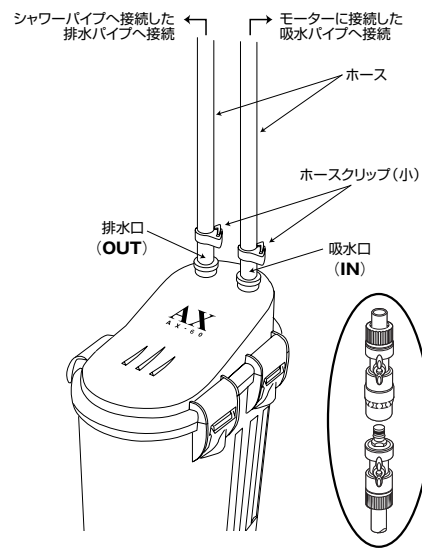


左図のようにシャワーパイプ、止水栓、ジョイント、エルボーコネクター、オーバーフローパイプを接続し、クリップ付吸着盤を取り付けます。

接続が完了したら右図のように水槽内のお好みの位置に吸着盤でしっかりと固定してください。
※魚が多い水槽の場合は、シャワーパイプは水面より上に設置し、シャワーから出る水の落下によるエアレーション効果を高めてください。
※排水の勢いを弱めたいときは、シャワーパイプの穴の向きを、下方、又は水槽内に向けて調整してください。

8

5. 吸水パイプ、排水パイプとフィルター本体をホースで接続する

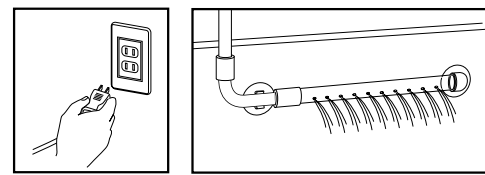


3, 4で取り付けした吸水パイプ、排水パイプにそれぞれホースを取り付けます。そして、吸水パイプ側に取り付けしたホースをフィルター本体の吸水口(IN)に、排水パイプ側に取り付けしたホースをフィルター本体の排水口(OUT)に、ホースが途中で折れ曲がらないよう、なるべく短めに切断してから取り付けます。
※吸水口・排水口に付属のホースクリップ(小)を使用し、外れないように奥までしっかりと接続します。

△注意
ホースが必要以上に長かったり、折れ曲がりがあると流量低下の原因になります。

吸・排水ホースの途中にオプションの「テトラ ダブルタップコネクター」をそれぞれ接続すると、メンテナンス時に大変便利です。

6. モーター部のプラグをコンセントに差し込み電源を入れる



電源を入れます

電源を入れるとフィルターケース内に水が満たされた後、しばらくしてシャワーパイプより水が排水されます。この時、各接続部やフィルターケースとフィルターケースカバーの間に水漏れがないかチェックしてください。さらに30~60分後に、フィルターが正常に作動し、水漏れがないかを再度確認してください。

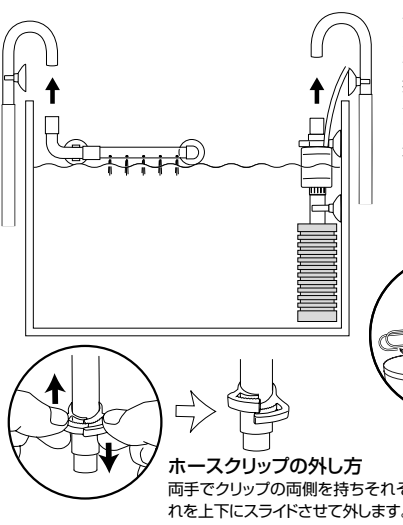
※モーターを始動させる際は、フィルターケース内には水は入れないでください。

9

メンテナンス

約1ヶ月に1回程度、又はシャワーパイプからの流量が落ちてきた時は以下の要領にてろ材、及びモーター部を洗浄してください。

1. 電源を切り水槽内のパイプを外す

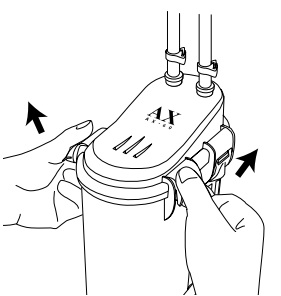


モーター部のプラグをコンセントから抜き、電源を切ります。モーター部、シャワーパイプ部に接続している吸水パイプ、排水パイプを引き抜き、パイプ、ホース、フィルターケース内に残っている水を捨ててください。
※本体、ホース、モーター/シャワーパイプ部を接続したまま、丸ごとバケツ等に取り出してから洗浄いただいても結構です。

△注意 水中に手を入れる際には前もってすべての器具の電源を切ってください。

2. ろ材の洗浄・交換

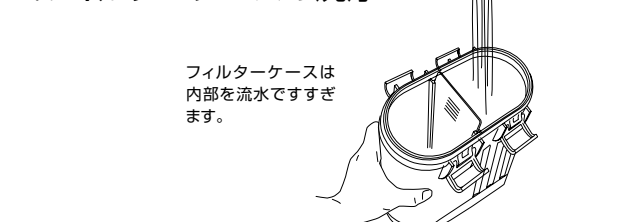
本体内の水を抜いた後、バケツなどの中でフィルターケースカバーを「設置方法の2.」の逆の手順で取り出し中のろ材を取り出します。



バイオグラスリングM
水槽の水がカルキを中和した水ですすいでください。表面の汚れ(ぬめりなど)が洗浄しても除去できなくなりましたら交換してください。(目安:約1年)
AXブラックスポンジM
水槽の水がカルキを中和した水の中で軽くもみ洗いをしてください。弾力がなくなりましたら交換してください。(目安:約6ヶ月)
また、交換の際はろ過バクテリアの急激な減少を防ぐため4枚同時には行わず、間隔を空けて交換してください。
AXカーボンM
1か月に1度の目安で交換してください。
AXウールM
1か月に1度の目安で交換してください。
ストレーナースポンジ
水槽の水がカルキを中和した水の中で軽くもみ洗いをしてください。弾力がなくなりましたら交換してください。(目安:約6ヶ月)

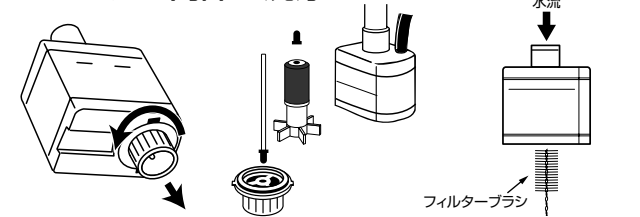
10

3. フィルターケースの洗浄



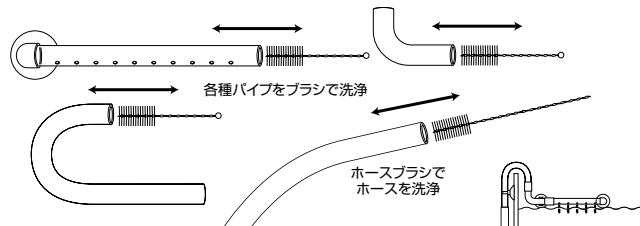
フィルターケースは内部を流水ですすぎます。

4. モーター内部の洗浄



インペラーカバーを反時計回りに回し、手前に引っ張ってモーターより取り外します。
インペラーをモーターより取り出して、流水でインペラーおよびモーター内部をしっかりと洗います。
※モーター側のインペラーカバーがモーター部に残ることがありますが、問題ありません。
モーター内部の壁や内水路を強い水流やフィルターブラシで洗浄し、ゴミを取り除きます。(排水側から強い水流を通して、内部のゴミを洗い落とすのも効果的です。)

5. 各種パイプ、ホースの洗浄



6. 再セット

逆の手順で、設置方法を参考にしながら取り付けます。この時フィルターケース内の水は完全に抜いてからセットしてください。また、再セット後は各接続部やフィルターケースとフィルターケースカバーの間に水漏れがないかを確認してください。さらに、30~60分後にフィルターが正常に作動し、水漏れがないかを再度確認してください。

△注意 再セットの際は、フィルターケース内の水は完全に抜いてください。

11

故障・異常の見分け方と処置方法

△注意 モーター部に砂や異物が詰まると止まります。下記を参照に処置してください。

現象	原因	処置方法
フィルターケースカバーが装着できない	パッキンが正常にセットされていない。 ろ材の詰めすぎ。	パッキンをフィルターケースの縁に沿って正常にセットしなおします。 余分なろ材を取り除きます。
フィルターケースカバーとフィルターケースの間から水が漏れる	パッキンが正常にセットされていない。 パッキンとフィルターケースカバーの間に異物が挟まっている。	パッキンをフィルターケースの縁に沿って正常にセットしなおします。 パッキン、及びフィルターケースカバーに異物が付着していないか点検します。
フィルターケースカバーに接続しているホースから水が漏れる	ホースが古くなり劣化している。 ホースクリップが正しく取り付けられていない。	新しいホースと交換します。 ホースクリップを正しく取り付けます。
モーターが回転しない	電源が入っていない。 フィルターケース内、ホースに水が入っている。 インペラー部やモーター内部にゴミや水アカが詰まっている。または細かい砂やろ材など異物を巻き込んでいる。 インペラー部に糸や毛などが巻きついている。 インペラー/マグネットが軸を中心にスムーズに回転していない。 水槽の水位が低い。	電源を入れる。 フィルターケース内、ホースの水は完全に抜いてください。 インペラー部やモーター内部のゴミや水アカを取り除くために分解そうじをします。(P11参照) また、細かい砂などの異物を吸い込まないように注意してください。 糸や毛などを取り除きます。 軸とインペラー/マグネットの間にカルシウム等のミネラル分が付着しているのを取り除きます。(モーターごと食用酢に数時間浸して強い水流でよく洗う。)
流量が弱まる	ろ材が目詰まり。 ホースが折れ曲がっている。 ストレーナー部やインペラー部、モーター内部にゴミや水アカが詰まっている。 ホース内部、シャワーパイプ内部の汚れ。 ストレーナーフィルタースポンジが目詰まりしている。 指定外のろ材を使用している。又は他の装置を接続している。 モーター内のインペラーが劣化している。	ろ材を取り出し洗浄、又は交換します。 ホースをなるべく短かめに切り、折れ曲がり直す。 ストレーナー部、インペラー部、モーター内部を隅々までそうじします。(P11参照) ホース内部、シャワーパイプ内部を洗浄します。 ストレーナーフィルターを洗浄します。 指定のろ材に交換します。他の装置との接続を止めます。 インペラーを交換します。
異常音がる	モーター部に空気が入っている。 インペラー部が破損していないかチェックします。 モーター下部カバーがしっかりセットされていない。	パイプ、ホース、フィルターケース内の水を抜いてから再スタートします。 破損している場合、交換します。 モーター下部カバーをしっかりとセットします。

※上記に該当しない場合は、テトラ製品販売店またはテトラインフォメーションセンター(P6参照)にご相談下さい。
●品質向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。予め、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

12